

index

2026〈第38号〉

- 医師連盟委員長挨拶
- 兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項
- 兵庫県議会自由民主党議員団との令和8年度県予算編成に対する要望の回答と意見交換会
- 第51回衆議院議員選挙結果
- 議員対談
- 都市医師連盟だより(丹波市医師連盟)
- 令和8年新年祝賀会

兵庫県医師連盟ニュース

発行所 兵庫県医師連盟

〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11

Tel 078-265-2328

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

編集責任者 橋本 寛



医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟
委員長 橋本 寛

「医療の財源を 確保せよ」

2月8日、兵庫県南部でも雪の降る中の衆議院選挙は、多くのメディアの予想を上回る自民党の圧勝、中道改革連合の大敗(立憲は激減、公明党は増加)に終わりました。兵庫県下の小選挙区でも連盟推薦の自民党公認候補者が全員当選を果たしました。これは我が国が抱える多

くの課題に速やかに取り組むことを有権者が選択した結果と考えます。これからの医療界にとって注視すべきは社会保障、特に医療の財源をどうするかです。首相は食品の消費税を2年間で限定でゼロにする意向のようですが、約5兆円の税収減を理由に医療への予算を削減する事は医療従事者のみならず、多くの国民からの同意を得られないでしょう。国の安全保障の一角を担う医療への予算を削減する事は安心安全の社会を後退させる事になります。必要な財源確保こそ政治の役割であり、単なる人気取り政策では有権者の心は離れていきます。

兵庫県医師連盟定時委員総会議決事項

令和8年4月19日(日)、兵庫県医師会館で開催し、「令和8年度事業計画」「令和8年度予算」「令和8年度会費賦課徴収」の3案について、原案通り可決されました。

(令和8年度事業計画)

医師の政治力強化を図り、もって「国民皆保険制度の堅持」、「地域保健医療活動の強化」、「平等で安全な医療提供体

1. 政治活動
①県下首長・議員に対してのロビー活動展開
②県選出国会議員はマンツーマン方式による
2. 都市医師連盟における地方自治体首長、選挙区県議会議員、市町議会議員へのロビー活動に対する

支援

- ②兵庫県議会議員との県民の医療と福祉を考える会の開催(医療政策勉強会等の開催)
- ③兵庫県議会主会派に対する医療政策実現化に向けての県予算化要望
- ④選挙活動の展開

1. 第28回参議院議員選挙に向けた日医連推薦候補者の選挙支援活動を、SNSの積極的活用(LINE登録も含めたインスタグラム等の活用)で会員への働きかけを強力に展開する。
2. 各選挙における医師の政治力(集票能力)を示すため、各地区(小選挙区等)で医政活動推進助成金等を活用して医師連盟推薦候補者の支援活動を強力に展開する。

二、広報活動

- 県民並びに関係団体に対して、強く医師連盟の理念と医療政策を訴え、理解を得るよう努め、広く県民等を巻き込んだ世論の形成を目指す。
- ①フォーラム等県民並びに関係団体等参加の集会開催
 - ②医師連盟ニュースの企画・編集、定期発行並びに関係団体への配布
 - ③医師連盟ホームページの紙面の充実
- ### 三、対内活動
- 医師連盟会員への医療政策の啓発とそれを実現させるための政治活動への参画意識の昂揚を

図る。

- ①医師連盟若手会員の育成
 - ②医療政策を政治に反映させる方策の検討
 - ④各関係団体との連携強化
- 関係団体との強固な連携のもと、医療政策の実現化のための政治活動を展開する。

兵庫県議会自由民主党議員団との 令和8年度県予算編成に対する 要望の回答と意見交換会

令和7年9月3日に自民党県議団との意見交換を行い、令和8年度県予算編成に対する最重要事項として、「RSウイルス母子免疫ワクチン(アプリスポ®筋注用)について」市町に対する補助の実現方を強く要望した事項について、令和8年3月19日(木)午後4時から県庁3号館4階大会議室において、要望に対する回答も含めた意見交換が開催された。

回答

自民党県議団からは、北野実(姫路市)、前井まき(宍粟市)、石川憲幸(丹波市)、風早寿郎(宝塚市)、大前はるよ(西宮市)、橋秀太郎(豊岡市・美方郡)、谷口俊介(神戸市西区)、戸井田ゆうすけ(姫路市)、松本裕一(加古川市)、北川泰寿(西宮市)、伊藤栄介(神戸市中央区)、黒川治(尼崎市)の12名、県医師連盟からは、橋本寛委員長、三浦副委員長、平林常任執行委員、事務局2名が出席した。

RSウイルス母子免疫ワクチンにおいては、令和8年4月1日より定期接種化され、A類疾病に位置づけられる予定である。

A類疾病は、接種費用の一部(9割程度)を地方交付税措置されることとなっているため、他の定期予防接種との公平性の観点から課題があるものと考えている。

また、妊婦に対する3種混合ワクチン(DPT)接種においては、その補助および勧奨について、国の審議状況を注視している。

- ①日本医師連盟との連携
 - ②近畿各府県医師連盟(医師政治連盟)との連携
 - ③兵庫県歯科医師連盟、兵庫県薬剤師連盟との連携
 - ④その他の関係団体との連携
- (令和8年度会費賦課徴収)
一、会費の賦課額

令和8年度兵庫県医師連盟会費賦課額を次の通り定める。

会費賦課額

A会員(年額) 3,500円
B会員(年額) 1,000円

二、会費の徴収方法

兵庫県医師会会費等徴収規程及び同施行細則に準ずる。



県庁3号館4階大会議室にて



平林常任執行委員、橋本委員長、三浦副委員長

なお、予防接種の財源措置については、国に要望しており、今後も引き続き要望していく。

小選挙区推薦候補者一覧			
兵庫1区	神戸市東灘区・灘区・中央区		
盛山正仁	自元		
兵庫2区	神戸市兵庫区・北区・長田区・西宮市第2(北部)		
坊恭寿	自前		
兵庫3区	神戸市須磨区・垂水区		
関芳弘	自前		
兵庫4区	神戸市西区・西脇市・三木市・小野市・加西市・加東市・多可郡多可町		
藤井比早之	自前		
兵庫5区	豊岡市・川西市第2(北部)・三田市・丹波篠山市・養父市・丹波市・朝来市・川辺郡猪名川町・美方郡香美町・新温泉町		
谷公一	自前		
兵庫6区	伊丹市・宝塚市・川西市第1(南部)		
大串正樹	自前		
兵庫7区	西宮市第1(南部)・芦屋市		
山田賢司	自前		
兵庫8区	尼崎市		
青山繁晴	自新		
兵庫9区	明石市・洲本市・南あわじ市・淡路市		
西村康稔	無前		
兵庫10区	加古川市・高砂市・加古郡稲美町・播磨町		
渡海紀三朗	自前		
兵庫11区	姫路市第1(北部)・第2(南部)		
山田基靖	自新		
兵庫12区	姫路市(旧家島・夢前・香寺・安富町)・相生市・たつの市・赤穂市・宍粟市・神崎郡神河町・市川町・福崎町・揖保郡太子町・赤穂郡上郡町・佐用郡佐用町		
山口壮	自前		

選挙区市区町名候補者氏名所属政党

前・新・元別

第51回衆議院議員選挙結果

令和8年2月8日に第51回衆議院議員選挙が行われた。
兵庫県では、12選挙区で県医師連盟が推薦した候補者12人は、11人が当選した。

党派別当選者数					
	合計		小選挙区	比例代表	公示前勢力
定数	465	(女性)	289	176	
自民	316	(39)	249	67	198
維新	36	(1)	20	16	34
中道	49	(8)	7	42	167
共産	4	(2)	0	4	8
国民	28	(8)	8	20	27
れいわ	1	(0)	0	1	8
社民	0	(0)	0	0	0
参政	15	(8)	0	15	2
保守	0	(0)	0	0	1
みらい	11	(2)	0	11	0
減ゆ連	1	(0)	1	0	5
諸派	0	(0)	0	0	0
無所属	与党系	(0)	2	-	15
	野党系	(0)	2	-	
合計	465	(68)	289	176	465

兵庫の比例代表党派別得票数		
党派	票数	比率
自民	834,997	33.85
維新	440,016	17.84
中道	396,411	16.07
共産	103,389	4.19
国民	174,564	7.08
れいわ	65,524	2.66
社民	23,182	0.94
参政	173,131	7.02
保守	69,874	2.83
みらい	156,959	6.36
減ゆ連	28,502	1.16
計	2,466,549	100

選管最終



比例代表の小選挙区別得票数

選挙区	自民	維新	中道	国民	参政	みらい	共産	保守	れいわ	減ゆ連	社民	計
1区	73,132	37,038	32,339	16,357	14,230	18,982	10,471	7,366	5,393	2,945	2,247	220,500
2区	61,564	31,427	35,245	12,634	12,297	11,254	9,316	5,520	5,122	2,221	1,741	188,341
3区	53,193	27,693	26,322	14,725	10,421	11,066	8,577	4,860	4,278	1,945	1,708	164,788
4区	80,319	33,170	37,034	14,793	15,381	12,511	8,702	5,853	5,885	2,382	2,071	218,101
5区	76,440	37,113	36,655	13,398	13,205	11,238	8,631	4,702	5,332	2,294	2,097	211,105
6区	80,089	50,579	39,363	17,310	18,340	17,791	9,812	7,277	6,460	2,887	2,742	252,650
7区	82,595	55,833	35,378	19,745	17,379	23,052	11,282	8,657	6,618	3,311	2,817	266,667
8区	55,851	41,880	36,027	13,176	13,621	12,519	10,244	6,583	6,716	2,331	1,668	200,616
9区	74,653	28,978	32,904	14,749	15,733	11,489	7,723	5,475	5,541	2,350	1,744	201,339
10区	64,502	30,258	31,977	12,613	15,758	9,778	6,280	4,682	4,905	1,942	1,594	184,289
11区	74,076	37,119	28,710	15,771	16,281	10,761	6,594	5,715	5,029	2,330	1,436	203,822
12区	58,583	28,928	24,457	9,293	10,485	6,518	5,757	3,184	4,245	1,564	1,317	154,331
計	834,997	440,016	396,411	174,564	173,131	156,959	103,389	69,874	65,524	28,502	23,182	2,466,549
比率	(33.85)	(17.84)	(16.07)	(7.08)	(7.02)	(6.36)	(4.19)	(2.83)	(2.66)	(1.16)	(0.94)	(100)

選管最終

兵庫県医師連盟
ホームページ

医師連盟の主張や意見の広場、郡市区医師連盟の活動などを掲載し、随時内容を更新しています。

兵庫県医師連盟

検索

http://www.hyogo-ishirenmei.jp

岡林執行副委員長（以下岡林）
今回の参議院選挙は厳しい情勢が続く、多くの困難があった中での当選、心よりお祝い申し上げます。ご自身の努力が実を結んだ今、最も達成感を感じていらっしゃるのどのような点でしょうか。また、今回の選挙戦を振り返って、特に印象に残っている出来事があればお聞かせください。

加田参議院議員（以下加田）
私にとっては秘書時代から国会議員4期16年、そして参議院議員となった現在に至るまで、長田区医師会の先生方に長年お世話になっており、医療の現場の話もいつも教えていただいております。去年の参議院選挙では、今でも涙が出ますけど、長田区の三師会に呼び掛けてい



加田裕之の参議院議員

者の間では「県立病院は大変だが、民間病院や診療所はなんとかなるのでは」といった楽観的な見方が根強くあります。しかし、実際には多くの診療所が厳しい経営状況に置かれていることが報告されています。現場の医師からも多くの切実な声が寄せられています。岡林先生からは「診療所では物価高騰の影響を受け、医療資材や備品の価格が2割以上上昇している。人件費も確保できず、医療の質を維持するのが難しい」と直接電話でご意見をいただきました。こうした現場の声を吸い上げ、中央での議論に反映するよう努めています。補正予算での一時的な支援はあったものの、診療報酬の抜本的な見直しは不可欠であることも緊急要望しました。医療政策研究会のメンバーとして財務大臣への申し入れに参加し、民間病院・自治体病院・大学病院の赤字問題について意見を述べました。特に、財務大臣との面談でも、「診療所はなんとかなる」というような楽観論に対し、「現実とのギャップが危機感を薄れさせる恐れがある」と強調し、正確な現場の実態に基づく政策判断の必要性を訴え、診療所の赤字増加が深刻化している現状を訴えました。本年の診療報酬改定については、私は複数の医療に関わる議論に出席し、現場の先生方の意見を踏まえた積極的な発言を行いました。特に、「国民医療を守る議員の会」においては診療報酬改定が現場に与える影響について問題提起し、医療従事者の声を中央に届ける重要性を強調しました。

岡林 以前から取り組んでおられる災害や防災についてお考えをお聞かせください。

加田 私が政治家となった原点は阪神・淡路大震災を経験した際、地域の混乱や医療現場の苦勞を目の当たりにし、震災直後は、新聞記者として被災地にて

取材を行う等、現場の声を聞く中で行政や医療の連携の必要性を痛感しました。この体験をきっかけに、政治の道へ進む決意を固めました。長田区医師会の先生方と協力し、災害医療体制の構築、特に、長田区の医師会・歯科医師会・薬剤師会・介護福祉団体・行政機関が連携して開催される災害医療フォーラムや実践的な防災訓練に積極的に参加し、現場で課題を共有しながら、必要な政策提言や調整役を担いました。地域医療の充実や防災対策の強化を中心に取り組み、現場の声を政策に反映できるよう努めました。防災庁設立は、近年頻発する大規模災害への事前対策を強化し、被害の最小化と迅速な復旧を実現することを目的としています。私は自民党防災庁抜本的強化本部の事務局次長として、兵庫県内の自治体と連携し、現場の声を反映した要望活動を行ってきました。防災庁は単なる組織的な整備だけでなく、実効性ある防災体制の構築を目指し、現場の医療機関や関係団体と協力して地域防災力の底上げを図ります。阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、災害発生時には行政と医療現場が一体となって対応する必要がありますがあることを学びました。今後この経験を活かし、防災庁の政策や組織作りを反映させていく所存です。災害時には医療体制の迅速な立ち上げが不可欠であり、医療と防災は切り離せません。特にJMAT

（日本医師会災害医療チーム）や医師会は、被災地での医療活動の中核を担います。防災庁設立にあたり、医療現場の意見を積極的に取り入れ、実効性ある支援体制の構築に取り組んでいます。今後は現場の医療従事者や自治体の意見を政策に反映し、より実効性のある防災・医療支援体制の確立を目指します。令和9年度には新たな施策の実施も予定しており、引き続き地域と連携しながら、災害に強い社会の実現に貢献してまいります。

岡林 最後に、毎年長田区の秋期総会では先生にご講演をお願いしてお話を伺っておりますが、参議院議員として特に力を入れておられる政策分野や、今後注力したい課題がございましたらお聞かせいただけますでしょうか。

加田 兵庫県選出の参議院議員として、兵庫県は都市部から農村部まで幅広い地域が存在し、



岡林孝直県医連盟副委員長

一次産業から三次産業まで多様な魅力を持つ「日本の縮図」とも言われています。そのため、地域ごとに異なる健康課題にも目を向ける必要があると強く感じています。すべての県民が健康で元気に暮らせることが、地域の資源や人材を最大限に活かす上で不可欠です。こうした考えから、私は高齢者医療の充実や地域医療体制の強化、予防医療への投資など、実効性のある医療政策に力を入れてまいります。今後も、県民の多様なニーズに応えられる具体的な施策を推進し、誰もが安心して暮らせる兵庫県づくりに貢献していきます。

岡林 本日はご多忙にもかかわらず県医師会館にお越しいただきありがとうございました。今後のさらなる活躍を期待しております。

郡市医師連盟だより

【丹波市医師連盟】

丹波市医師連盟では、地域医療の充実と医療政策への理解を深めることを目的として、関係機関との連携を図りながら医政活動に取り組んでいます。

令和7年12月4日、丹波市医師連盟主催による「谷公一先生と語る会」を開催しました。当日は衆議院議員の谷公一先生、兵庫県議会議員の石川憲幸先生、丹波市の林時彦市長に出席を御依頼していましたが、谷先生は補正予算審議に伴う委員会出席のため残念ながら急遽欠席となりました。

語る会は丹波市医師連盟から、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの感染症対策、防災時における医療体制の整備、さらに丹波地域における住民の健診および健康づくりの取り組みなどについて説明し、今後の課題について意見交換を行いました。

そして、地域医療を守るためには、医療機関だけでなく行政や議会との連携が不可欠であることを主張しました。石川県議と林市長には医療現場の声を直に耳を傾けていただきました。

その後の懇親の場では、終始和やかな雰囲気の中で、語る会に引き続き活発な意見交換が行われ、



医療・行政・議会がそれぞれの立場から地域医療の課題について理解を深める有意義な機会となりました。今後、地域の実情を踏まえた施策として県政・市政へ反映していただけるものと期待しております。

令和7年6月26日には丹波市医師連盟通常総会を開催し、総会終了後の記念講演として兵庫県医師会会長の八田昌樹先生を講師にお迎えし、「今後の医師会の展望について」と題してご講演いただきました。

講演では、日本医師会執行部における医師会運営の基本方針として、①地域から中央へ、②二致団結する強い医師会へ、③医師の期待に応える医師会へ、④国民の信頼を得られる

医師会への4つの柱が示されました。地域医療の実情を踏まえた意見を中央へ届けることの重要性が述べられ、郡市区医師会と県医師会との連携を一層強化していく必要性が強調されました。

また、近年の診療報酬改定率の推移にも触れられ、物価や人件費の上昇が続く中、医療機関の経営環境は厳しさを増している現状が示され、さらに外国人医療への対応、医師偏在対策、新たな地域医療構想など、医療を取り巻く政策課題についても言及があり、県医師会として行政との連携を深めながら地域医療の確保に取り組んでいく方針が示されました。

当日は参議院議員選挙を控え、日本医師会常任理事の坂本泰三先生にもお越しいただき、懇親の席において日本の医療の現状と医政活動の重要性についてお話しいただきました。医療制度は国の政策によって大きく左右されるものであり、医療現場の声を国政へ届けていくことの重要性が改めて共有されました。また、日本医師連盟の組織内候補として出馬予定の釜范敏

前田啓志先生	山縣憲一先生
松下全己先生	宮崎直之先生
林 泰志先生	丹波市
芝 昌彦先生	林 時彦市長
大塚浩之先生	医師会長
田中庸生先生	野上壽一先生
大野伯和先生	兵庫県議会議員
中澤直三先生	石川憲幸先生
松本健嗣先生	医師連盟会長
	石井敏樹先生
	上山知己先生

先生についても触れられ、医療現場を熟知した医師が国政の場で活動することの意義について理解を深める機会となりました。

丹波市医師連盟では、今後も地域医療の充実と発展のため、医療現場の声を政治へ届ける医政活動を継続していきたいと考えています。

丹波市医師連盟
会長 石井 敏樹



挨拶する八田昌樹県医会長

兵庫県医師会 新年祝賀会

護協会会長、山口晋平兵庫県議会議長を迎え、兵庫県医師会からは川島龍一・空地顕一兵庫県医師会名誉会長、さらに日本医師会からは坂本泰三日本医師会常任理事に加え、自見はなこ、釜范敏自由民主党参議院議員、兵庫県選出の衆参国會議員、県議員、郡市区医師会会長、各医会会長、各委員会委員長など、総勢202名の出席を賜りました。

平林弘久・瓦井博子常任理事の司会のもと、橋本寛副会長の開会の辞で新年祝賀会は始まりました。冒頭、八田会長からは新年の挨拶の後、厳しい医療環境の中、「3・09%」の診療報酬プラス改定率に対して尽力された松本会長に感謝の意を表しました。そして、山積する医

療課題を直視しながらも、「兵庫県民への医療をさらに前進させていく」という不退転の決意を力強く表明され、出席者一同、地域医療を守る責務への思いを新たにしました。

続く来賓挨拶では松本日本医師会会長より、医療提供体制の確保に向けた1・4兆円の補正予算が組まれたことに言及し、ご尽力いただいた自由民主党の国會議員の方々への感謝の言葉と、ご自身が本年の年男でもあり、「今年も様々な制度改革にエネルギーを取り組んでいく」と力強いご挨拶をいただきました。

その後、中井兵庫県保健医療部次長(齋藤知事、挨拶を代読)、山口兵庫県議会議長、橋本兵庫県歯科医師会会長のご祝辞の

後、三宅兵庫県薬剤師会会長の乾杯のご発声で新年祝賀会が始まりました。歓談の時間では、各テーブルやフロアの至る所において、有意義な意見交換を行う姿が多く見受けられました。

最後には三浦一樹副会長が、ご多忙の中ご臨席いただいた皆様への謝辞と、本年の兵庫県医師会のさらなる発展を祈念する閉会の辞を述べ、和やかな雰囲気の中でお開きとなりました。



当日出席の国會議員の方々



県議会各派代表議員の方々